

資料編

- 第 1 節 京都府京丹後市の公共交通の取組
- 第 2 節 講演会、事例視察・ワークショップ開催概要
- 第 3 節 アンケート調査票

第1節 京都府京丹後市の公共交通の取組

先進事例等におけるインタビュー調査で紹介した京都府京丹後市の公共交通体系について、本編では詳細に説明できなかったことから、京丹後市から提供いただいた資料を参考として以下に示す。



京丹後市の公共交通の取組について

1 京丹後市の公共交通利用促進事業

(1) 高齢者片道200円レール事業

府北部2市2町在住の65歳以上の方が、域内の各駅から京都丹後鉄道線などの駅で降りても片道200円で普通・快速列車を利用可能。

平成29年度から、往復（購入）での利用に加え、片道（購入）での利用を可能とした。



200円レールを活用した団体利用

年間の利用者数の推移（単位：人）

年度	京丹後市	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
23年度	2,784				2,784
24年度	8,754				8,754
25年度	18,457	16,841	297	3,665	39,260
26年度	20,484	19,924	246	3,941	44,595
27年度	19,633	20,580	274	3,962	44,449
28年度	18,884	21,209	252	3,858	44,203
29年度	19,401	20,118	285	4,122	43,926
30年度	18,207	19,523	295	4,142	42,167

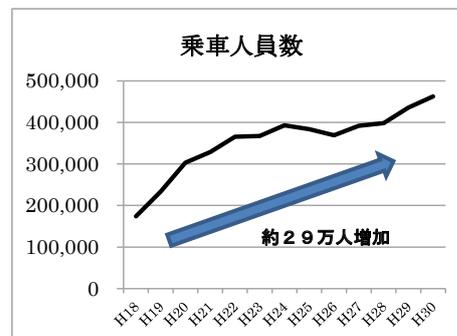
(2) 上限200円バス事業

府北部2市2町のエリア内であれば、誰でも上限200円でバスに乗車可能。平成19年度から実証実験開始、平成23年度から本運行開始。平成29年10月からは、宮津市、伊根町、与謝野町エリアでも本運行開始。平成30年度は12年間の取り組みで過去最高となる年間乗車人員462,676人を記録するものの、運転手不足の中で、路線網維持に向けた対応が課題となっている。



200円バスを活用した温泉ツアー

年度	乗車人員	年度	乗車人員
H18	173,939人	H25	383,432人
H19	233,658人	H26	368,746人
H20	303,207人	H27	391,962人
H21	328,486人	H28	398,099人
H22	365,288人	H29	435,769人
H23	367,403人	H30	462,676人
H24	393,109人		



(3) EV乗合タクシー事業 (H27.10.1～)

タクシー営業所が廃止された網野町及び久美浜町を乗車地として、市全域及び豊岡市街地まで乗車可能。駅からの二次交通や、ドアツードアの輸送を確保するため、丹後海陸交通(株)が「EV乗合タクシー」を運行。人だけでなく、モノやサービスも運べる乗り物として設計している。平成30年度は、6,743人が利用(うち買物代行1件)。

[年間利用者数]

年度	利用者数
H27	2,208人
H28	6,371人
H29	7,079人
H30	6,743人



(4) デマンドバス事業

丹後町内の路線区間において、週のうち3日間の指定された曜日に、事前予約に応じて必要な区間だけ運行。利用料金は最大200円。平成26年7月から運行開始。

年度	利用者数
H26	165人
H27	967人
H28	892人
H29	795人
H30	545人



(5) ささえ合い交通事業 (H28.5.26～)

地元NPO法人が運行事業者となり、ドアツードアの輸送を確保するため、道路運送法に基づく「公共交通空白地有償運送」では全国初となる、ICT(ウーバー・ジャパン提供のシステム)を活用して平成28年5月から運行開始。利用者の声に応え、現金とクレジットカードでの支払いに対応し、スマートフォンを持っていない方のために、「代理サポーター」を設置。インバウンドも含め、誰でも使える丹後町の足として活躍。



第2節 講演会、事例視察・ワークショップ開催概要

1. 開催概要

本調査研究において、多摩・島しょ地域自治体職員を対象とし、シェアリングエコノミーについて理解を深めるための講演会、事例視察、ワークショップを開催した。それぞれの企画を通して段階的にシェアリングエコノミーについて理解を深められる構成としている。

ステップ1：講演会
シェアリングエコノミーの概念を知る



ステップ2：事例視察
シェアリングエコノミーの理解を深めるとともに、活用に向けた障壁を下げる



ステップ3：ワークショップ
課題に対する解決策として、シェアリングエコノミーによる手法は何かを理解する

2. 講演会

(1) 実施概要・プログラム

図表 51 実施概要

講演会名	シェアリングエコノミーって何？
目的	多摩・島しょ地域自治体職員が、シェアリングエコノミーに関する基礎知識、自治体での具体的活用事例、活用検討に向けた政府の支援施策について体系的に学ぶことで、課題解決の一つの手段として身近に感じられる機会を提供することを目的に実施した。
参加対象	多摩・島しょ地域自治体職員
実施日	2019年8月29日（木）13:00～16:30
実施場所	東京自治会館 4階講堂
参加者数	82名

図表 52 プログラム

時刻	講演内容及び講師
13:00～13:10	主催者挨拶
13:10～14:00	「シェアリングエコノミー概論及びシェアリングエコノミー活用による地域課題解決」 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 シェアリングシティ統括ディレクター／内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏
14:00～14:50	「自治体の官民連携によるシェアリングエコノミー活用による地域課題解決の取組みについて」 埼玉県横瀬町 町長 富田能成氏
14:50～15:00	休憩
15:00～15:50	「シェアリングエコノミーにおける政府の取組について」 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室／シェアリングエコノミー促進室 参事官 田邊光男氏
15:50～16:30	全体質疑

(2) 講演内容のポイント

<シェアリングエコノミー（共有経済）とは>

- 場所、乗り物、モノ、スキル、お金をインターネット上のプラットフォームを介し、個人間でシェアしていく経済の動きである。「所有から利用へ」の概念である。

<シェアリングエコノミーが普及したきっかけ>

- Facebook などのソーシャルメディアにより他人同士でのつながりに信頼感が生まれた

ことと、スマートフォンの普及によりリアルタイムにヒト・モノ・カネ・スペースがつながり、オンライン決済が発達したことで、普及が拡大した。

<シェアリングエコノミーが導入しやすい地域>

- シェアリングエコノミーは、相互扶助の精神が根付いている郊外の人々のメンタリティにはまりやすく、導入がしやすいと感じる。

<シェアリングエコノミーの課題>

- シェアリングエコノミーの認知度は向上したものの、依然としてサービス利用への不安が残る現状
- 利用者・提供者の不安を解消し、社会課題の解決や新価値の創造が期待される。

(3) 質疑応答

<シェアリングエコノミーの導入について>

- シェアリングエコノミーを導入する際、どういうところから取り組めばよいか。
 - 「子育てシェアが当たり前のまち」といったような共助のビジョンを打ち出し、仕組みを作るのも一つの手。
 - 課題に対し、解決法としてシェアリングエコノミーがある。「アジェンダ・シェイピング・リーダーシップ⁴」という課題を形成する考え方を参考にしながら、まずは課題を掘り下げることが必要である。そのためには情報収集とともに、自治体のみで完結せず、民間事業者を巻き込みながら考えることが大切。
- まちの人口規模によってシェアリングエコノミーの取り組み方、広がり方は異なる。自治体はどこまでシェアリングエコノミーに踏み込めばよいか。
 - 都市型と過疎地域型のモデルは違うが、認知度やシェアリングエコノミーの信用性はいまだ低い。規模にかかわらず、自治体による介入、保証は必要と感じる。
 - 大きいまちでは既存事業者とのバッティングなどの可能性がある一方、シェアサービスメニューの豊富さや地区別の課題解決という面では面白いのでは。
 - 千葉市でも道路補修サービスなどを活用している。利害関係と自治体のミッションのバランスは考えていく必要がある。
- シルバー人材活用センターや人材バンクがあるが、スキルを持った方を生かしきれていない。高齢者をはじめ、スキルをもった人材を生かすアプローチはあるか？
 - 子育て世代の課題を知恵や経験がある高齢者がサポートできるようなマッチングがもっとあればよいと感じている。高齢者にスキルごとのプラットフォームを紹介すれば、世の中全体としてマッチングサービスは広がるのではないか。
 - 高齢者にとって、週2、3日で働き、社会に貢献できるという場は有意義であり、広がってほしい。

⁴「課題設定・形成能力」の意（東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラムより）

<プラットフォームについて>

- プラットフォームの構築が難しい。既存プラットフォームの利用、無料アプリなどが考えられるがどのように選択すればよいか？
 - 場所にとらわれず、シェアできるというのがシェアリングエコノミーの考え方であり強みである。自治体が自前でプラットフォームを構築すると地域限定になる可能性があるため、自前での構築はやめたほうが良い。既存のプラットフォームを選ぶ際は、シェアリングエコノミー協会に相談するのも一つの手である。
- 既存のプラットフォームを利用する際に自治体が直面する課題は？
 - サービス提供者を集めても、利用者がいないという事例は多い。過疎地において対面型サービスは難しいため、非対面型のサービスの導入からスタートとするのもよいのでは。

3. 事例視察・ワークショップ

(1) 実施概要

図表 53 実施概要

企画名	シェアリングエコノミーを体験し、わがまちの課題解決を考える
目的	地域課題の解決アプローチとして、シェアリングエコノミーを活用するためには、地域の「課題」と「リソース」を知ることが重要である。そのため事例視察とワークショップを通じて「課題」と「リソース」をシェアリングエコノミーの視点で結び付け、地域課題の解決に向けたアイデアの創発を目指した。
参加対象	多摩・島しょ地域自治体職員
実施日	2019年10月28日(月) 10:30～17:00
実施場所	①事例視察：ユギムラ牧場 ②ワークショップ：レンタルスペース WakU2
参加者数	8名

図表 54 講師

氏名	所属
積田 有平	一般社団法人シェアリングエコノミー協会 シェアリングシティ統括ディレクター／内閣官房シェアリングエコノミー伝道師
山田 正勝	一般社団法人畑会（ハタカイ）代表理事 畑オーガナイザー
細川 哲星	株式会社ガイアックス TABICA 事業部 地方創生室 室長 / 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師
ハレ・ローラン	訪日観光コンサルタント

図表 55 事例視察「シェアリングエコノミーのスキル（時間）シェアを体験・理解する」プログラム

時刻	内容
10:30～ 10:50	【イントロダクション】 ・シェアリングエコノミー概論
10:50～ 13:00	【シェアリングエコノミー体験】 ・スキルシェア（体験型観光マッチング）TABICA を体験 ・提供者との質疑応答

図表 56 ワークショップ「わがまちの課題解決に向けたシェアリングエコノミーの
活かし方を探索する」プログラム

時 刻	内 容
14:30 ~ 17:00	【シェアを学ぶ】 ・ TABICA の基礎知識を学習 ・ 地域における体験シェアの成功事例を学習
	【わがまちのシェアを考える（グループワーク）】 ・ 自分自身が提供者としてシェアできるモノ・コトを考える ・ 自分のまちの魅力や課題、目指すべき未来を考える ・ 実行プランをつくる

(2) 事例視察を終えて講師からのコメント

- 行政には関係構築に向けた最初のきっかけづくりのために、地域住民との間に入っていただきたい。実際の活動として八王子の山村地域まちおこしプロジェクトをやっており、自治体にも参画いただいている。農泊をやっており、空き家の探索・活用のため、行政に入っていただいた。地域活性化のためには自治体と地域の NPO や団体、住民が一体となり、ランドデザインを描くことが必要となる。

(3) ワークショップを終えて講師からのコメント

- 課題と向き合う際に「難しい」と感じることは多いと思う。難しいかどうかではなく、どうやって解決するかを考え、向き合ってほしい。また、これまでの課題への取り組み方では、これまでの結果しか出ない。これまでの結果に満足していないのであれば、他の方法を考え、実践してみるのがよいのではないか。
- まちによって課題が異なるため、自分のまちの課題を問い続け、解決策を考えてほしい。シェアリングエコノミーは課題を解決するための手段である。

第3節 アンケート調査票

1. 自治体アンケート

シェアリングエコノミーに関するアンケート

基本情報について

自治体名		所属部署	部	課
ご回答者名		T E L		
メールアドレス				

I. 自治体における政策課題と対処状況等について

問1. 一般的に自治体が抱える諸課題について、貴自治体ではどのような位置づけでしょうか。

特に優先度が高いものを順不同で3つに「✓」をつけてください。(最大で3つまで)

選択肢 (該当に「✓」。最大3つまで)		
<input type="checkbox"/> ①雇用創出 (主に若者、女性に向けた地域での仕事づくり)	<input type="checkbox"/> ②男女共同参画 (女性が働きやすい環境づくり)	<input type="checkbox"/> ③社会福祉 (子育てしやすい環境づくり)
<input type="checkbox"/> ④公共交通 (代替公共交通または観光客向け新規交通手段の創出)	<input type="checkbox"/> ⑤観光振興 (宿泊施設や着地型観光サービスなど観光産業の活性化)	<input type="checkbox"/> ⑥公的不動産活用 (廃校など自治体が保有する低未利用施設の利活用)
<input type="checkbox"/> ⑦民間資産活用 (空き家、空き店舗など民間不動産の活性化)	<input type="checkbox"/> ⑧教育 (生涯教育など住民に対する学習機会・学習環境の提供)	<input type="checkbox"/> ⑨農林水産 (農林水産資源の観光への活用など)
<input type="checkbox"/> ⑩災害対策 (災害時における地域に対する支援・サポートの提供)	<input type="checkbox"/> ⑪自主財源の確保 (行政サービスの維持・拡充に向けた歳入面の改善)	<input type="checkbox"/> ⑫その他 ()

II. シェアリングエコノミーの認知・活用状況について

問2. 「シェアリングエコノミー」についてどの程度知っていますか。【別紙】参照のうえ、あてはまるものに「✓」をつけてください。

(1つだけ)

選択肢 (該当に「✓」)
<input type="checkbox"/> ①内容をよく知っている (説明できる)
<input type="checkbox"/> ②言葉は聞いたことがある (内容はよく知らない)
<input type="checkbox"/> ③まったく知らない

問3. 貴自治体におけるシェアリングエコノミーの実施・検討状況 (2019年6月末時点) について、あてはまるものに「✓」をつけてください (1つだけ)

選択肢 (該当に「✓」)	
<input type="checkbox"/> ①実施している	⇒【問4へ】
<input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している	
<input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない	⇒【問11へ】

Ⅲ-1. シェアリングエコミーの実施・検討状況について ※問3で①～②を選択された方にお伺いします

問4. 以下のシェアリングエコミーの実施、検討状況について、それぞれの内容ごとにあてはまるものに「✓」をつけてください

カテゴリ	シェアリングエコミーの内容		回答欄（該当に「✓」）
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	個人の自宅や空家等の住宅を宿泊者向けに貸し出すサービス（主に民泊）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	1-2.スペースシェア	空き地や遊休施設、駐車場など空きスペース等を貸し出すサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	会員間で自動車を共有し、利用できるサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	2-2.ライドシェア	移動手段を探している人と乗り物の所有者・運転者をマッチングする相乗りサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	2-3.シェアサイクル	会員間で自転車を共有し、利用できるサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	不用品などの物品をオンライン上にて売買できるサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	3-2.レンタルサービス	洋服や家具など定額料金で自由にレンタルできるサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	デザインや通訳業務など特定スキルを提供するサービス（クラウドソーシングなど）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	4-2.時間シェア	家事代行や子守り、地域ガイドなど空き時間を提供するサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	不特定多数の人々からオンラインで資金を募るサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
	5-2.ソーシャルレンディング	カネを借りたい人と投資したい人をインターネット上で結びつけるサービス	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない
6. その他	具体的に：		<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②未実施だが、検討している <input type="checkbox"/> ③未実施で、検討もしていない

問 5. 最初にシェアリングエコノミーの実施・検討を開始したきっかけについて、もっともあてはまるものに「✓」をつけてください
(1つだけ)

選択肢（該当に「✓」）	
<input type="checkbox"/>	① 首長・幹部のトップダウン
<input type="checkbox"/>	② 担当職員からのボトムアップ
<input type="checkbox"/>	③ 事業者の提案
<input type="checkbox"/>	④ 市民からの要望
<input type="checkbox"/>	⑤ 議会からの要望
<input type="checkbox"/>	⑥ その他（具体的に： _____）

問 6. 実施・検討にあたって苦労した点について、すべてに「✓」をつけてください（いくつでも）

選択肢（該当に「✓」）					
<input type="checkbox"/>	① シェアリングエコノミーに関する知識習得	<input type="checkbox"/>	② 庁内関係者・部署間での連携	<input type="checkbox"/>	③ 実務的な制度設計
<input type="checkbox"/>	④ 法律や条例との整合性担保	<input type="checkbox"/>	⑤ 共同（連携）事業者の選定	<input type="checkbox"/>	⑥ 事業の認知拡大
<input type="checkbox"/>	⑦ シェア資産提供者（ホスト）の数的確保・拡大	<input type="checkbox"/>	⑧ シェア資産提供者（ホスト）の質的向上（モラル・マナー等）	<input type="checkbox"/>	⑨ シェア資産利用者（ゲスト）の数的確保・拡大
<input type="checkbox"/>	⑩ シェア資産利用者（ゲスト）の質的向上（モラル・マナー等）	<input type="checkbox"/>	⑪ 事業予算の確保	<input type="checkbox"/>	⑫ 担当職員の数的確保
<input type="checkbox"/>	⑬ 担当職員の実務能力向上	<input type="checkbox"/>	⑭ 事業収益性の改善・向上		
<input type="checkbox"/>	⑮ その他（具体的に _____）	<input type="checkbox"/>	⑯ 特に苦労した点はなかった		

問 7. 前問（問 6）のうち“もっとも苦労した点”について、番号（①～⑯）と具体的な内容をご記入ください（1つだけ）
また可能であれば、解決に向けて取り組んだことについても、あわせてご記入ください。

対象（前問の番号記入）	苦労した内容（具体的に）

問 8. シェアリングエコミーを実施・検討した結果として、効果があったものまたは期待する効果について、すべてに「✓」をつけてください（いくつでも）

選択肢（該当に「✓」）		
<input type="checkbox"/> ①雇用創出（主に若者、女性に向けた地域での仕事づくり）	<input type="checkbox"/> ②男女共同参画（女性が働きやすい環境づくり）	<input type="checkbox"/> ③社会福祉（子育てしやすい環境づくり）
<input type="checkbox"/> ④公共交通（代替公共交通または観光客向け新規交通手段の創出）	<input type="checkbox"/> ⑤観光振興（宿泊施設や着地型観光サービスなど観光産業の活性化）	<input type="checkbox"/> ⑥公的不動産活用（廃校など自治体が保有する低未利用施設の利活用）
<input type="checkbox"/> ⑦民間資産活用（空き家、空き店舗など民間不動産の活性化）	<input type="checkbox"/> ⑧教育（生涯教育など住民に対する学習機会・学習環境の提供）	<input type="checkbox"/> ⑨農林水産（農林水産資源の観光への活用など）
<input type="checkbox"/> ⑩災害対策（災害時における地域に対する支援・サポートの提供）	<input type="checkbox"/> ⑪自主財源の確保（行政サービスの維持・拡充に向けた歳入面の改善）	<input type="checkbox"/> ⑫その他（ ）

問 9. 今後の事業継続（検討中の場合は事業の実施）にあたって、感じている課題（想定される課題）について、すべてに「✓」をつけてください（いくつでも）

選択肢（該当に「✓」）		
<input type="checkbox"/> ①シェアリングエコミーに関する知識向上・情報アップデート	<input type="checkbox"/> ②庁内関係者・部署間での連携強化	<input type="checkbox"/> ③実務的な制度設計・見直し
<input type="checkbox"/> ④法律や条例との整合性担保	<input type="checkbox"/> ⑤共同（連携）事業者の選定・見直し	<input type="checkbox"/> ⑥事業の認知拡大
<input type="checkbox"/> ⑦シェア資産提供者（ホスト）の数的確保・拡大	<input type="checkbox"/> ⑧シェア資産提供者（ホスト）の質的向上（モラル・マナー等）	<input type="checkbox"/> ⑨シェア資産利用者（ゲスト）の数的確保・拡大
<input type="checkbox"/> ⑩シェア資産利用者（ゲスト）の質的向上（モラル・マナー等）	<input type="checkbox"/> ⑪事業予算の拡大・補充	<input type="checkbox"/> ⑫担当職員の数的拡大・補充
<input type="checkbox"/> ⑬担当職員の実務能力向上	<input type="checkbox"/> ⑭事業収益性の改善・向上	<input type="checkbox"/> ⑮サービス利便性の改善・向上
<input type="checkbox"/> ⑯その他（具体的な ）	<input type="checkbox"/> ⑰特になし	

問 10. 前問（問 9）のうち「もっともあてはまる課題」について、番号（①～⑯）と具体的な内容をご記入ください（1つだけ）

対象（前問の番号記入）	課題の内容（具体的に）

⇒【問 14 へお進みください】

Ⅲ-2. シェアリングエコミーを実施・検討していない背景について ※問3で③を選択された方にお伺いします

問1 1. 今まで実施・検討に至っていない背景・理由について、すべてに「✓」をつけてください（いくつでも）

選択肢（該当に「✓」）		
<input type="checkbox"/> ①シェアリングエコミーに関する知識習得が困難	<input type="checkbox"/> ②庁内関係者・部署間での連携が困難	<input type="checkbox"/> ③実務的な制度設計が困難
<input type="checkbox"/> ④法律や条例との整合性担保が困難	<input type="checkbox"/> ⑤共同（連携）事業者の選定が困難	<input type="checkbox"/> ⑥事業の認知拡大が困難
<input type="checkbox"/> ⑦シェア資産提供者（ホスト）の数的確保・拡大が困難	<input type="checkbox"/> ⑧シェア資産提供者（ホスト）の質的向上（モラル・マナー等）が困難	<input type="checkbox"/> ⑨シェア資産利用者（ゲスト）の数的確保・拡大が困難
<input type="checkbox"/> ⑩シェア資産利用者（ゲスト）の質的向上（モラル・マナー等）が困難	<input type="checkbox"/> ⑪事業予算の確保が困難	<input type="checkbox"/> ⑫担当職員の数的確保が困難
<input type="checkbox"/> ⑬担当職員の実務能力向上が困難	<input type="checkbox"/> ⑭事業収益性の改善・向上が困難	
<input type="checkbox"/> ⑮その他（具体的に		<input type="checkbox"/> ⑯シェアリングエコミー自体を知らない

問1 2. 前問（問11）のうち“もっともあてはまる背景・理由”について、番号（①～⑯）と具体的な内容をご記入ください（1つだけ）

対象（前問の番号記入）	課題の内容（具体的に）

問1 3. シェアリングエコミー実施・検討にあたって参考になりそうな情報（整備・提供して欲しい情報）について、すべてに「✓」をつけてください（いくつでも）

選択肢（該当に「✓」）		
<input type="checkbox"/> ①シェアリングエコミーに関する全般的な情報	<input type="checkbox"/> ②庁内関係者・部署間の連携に関する情報	<input type="checkbox"/> ③制度設計に関するマニュアル情報
<input type="checkbox"/> ④関連する法規制や条例に関する情報	<input type="checkbox"/> ⑤シェアリングエコミー事業者の一覧情報（サービスの特徴や導入実績など）	<input type="checkbox"/> ⑥認知拡大に有効なPR事例や情報（活用した媒体やイベントなど）
<input type="checkbox"/> ⑦シェア資産提供者（ホスト） <u>募集</u> 情報（メリットや事例など）	<input type="checkbox"/> ⑧シェア資産提供者（ホスト） <u>教育</u> 情報（著名ホストのケーススタディやよくある失敗事例など）	<input type="checkbox"/> ⑨シェア資産利用者（ゲスト） <u>募集</u> 情報（メリットや事例など）
<input type="checkbox"/> ⑩シェア資産利用者（ゲスト）の <u>教育</u> 情報（マナー向上施策やゲストの信頼性担保手法など）	<input type="checkbox"/> ⑪活用できる補助金情報や相談窓口に関する情報	<input type="checkbox"/> ⑫先行事例における要員確保手法に関する情報
<input type="checkbox"/> ⑬要員が身につけておくべきサービス立ち上げ～運営における専門知識や情報	<input type="checkbox"/> ⑭事業収益性の改善に有効な手法やアイデアの事例や情報	
<input type="checkbox"/> ⑮その他（具体的に		<input type="checkbox"/> ⑯特になし

問 1 4. シェアリングエコノミーについて、1) 今後の取組み意向の有無と、2) 想定される障壁について、それぞれご記入ください（それぞれ1つずつ）

カテゴリ	シェアリングエコノミーの内容		回答欄	
			1) 今後の取組み意向 (該当に「○」)	2) 想定される障壁 (番号を記入)
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	個人の自宅や空家等の住宅を宿泊者向けに貸し出すサービス（主に民泊）	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	1-2.スペースシェア	空き地や遊休施設、駐車場など空きスペース等を貸し出すサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	会員間で自動車を共有し、利用できるサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	2-2.ライドシェア	移動手段を探している人と乗り物の所有者・運転者をマッチングする相乗りサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	2-3.シェアサイクル	会員間で自転車を共有し、利用できるサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	不用品などの物品をオンライン上で売買できるサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	3-2.レンタルサービス	洋服や家具など定額料金で自由にレンタルできるサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	デザインや通訳業務など特定スキルを提供するサービス（クラウドソーシングなど）	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	4-2.時間シェア	家事代行や子守り、地域ガイドなど空き時間を提供するサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	不特定多数の人々からオンラインで資金を募るサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
	5-2.ソーシャルレンディング	カネを借りたい人と投資したいインターネット上で結びつけるサービス	①取り組みたい ②取り組みたいと感じない	
6. その他	具体的に：		①取り組みたい	

選択肢：2) 想定される障壁（上の解答欄に該当する番号をそれぞれご記入ください）

①シェアリングエコノミーに関する知識習得が困難	②庁内関係者・部署間での連携が困難	③実務的な制度設計が困難
④法律や条例との整合性担保が困難	⑤共同（連携）事業者の選定が困難	⑥事業の認知拡大が困難
⑦シェア資産提供者（ホスト）の数的確保・拡大が困難	⑧シェア資産提供者（ホスト）の質的向上（モラル・マナー等）が困難	⑨シェア資産利用者（ゲスト）の数的確保・拡大が困難
⑩シェア資産利用者（ゲスト）の質的向上（モラル・マナー等）が困難	⑪事業予算の確保が困難	⑫担当職員の数的確保が困難
⑬担当職員の実務能力向上が困難	⑭事業収益性の改善・向上が困難	⑮その他
⑯シェアリングエコノミー自体を知らない	⑰予定がないためわからない	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

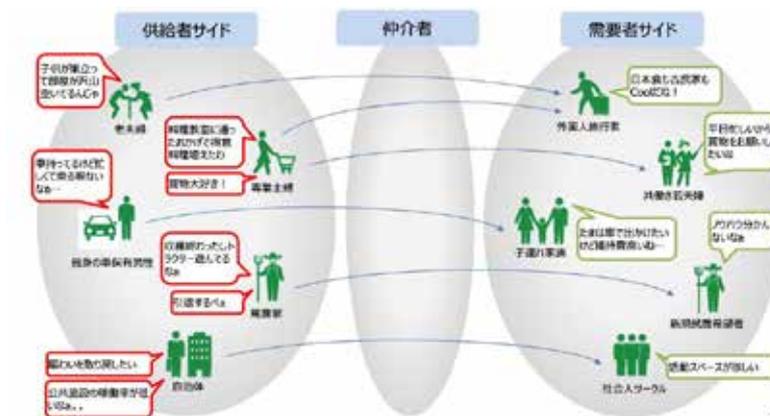
シェアリングエコノミーについて

1 シェアリングエコノミーの概要

政府が開催しているシェアリングエコノミー検討会議の中間報告書では、シェアリングエコノミーとは、「個人等が保有する活用可能な資産等（スキルや時間等の無形のものを含む。）を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動」としている。

具体的な取引の流れとしては、供給者（貸したい、売りたい人）、需要者（借りたい、買いたい人）がマッチングプラットフォーム（仲介者）に登録し、不特定多数の供給者の中から需要者がニーズに応じて選択し、お互いが合意すれば、提供者はモノ・サービスを提供し、利用者がそれを利用できるサービスである。

図1：シェアリングエコノミーの構造



出展：内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室／シェアリングエコノミー促進室
「シェアリングエコノミー推進プログラムの進捗状況について」（平成29年9月）

2 シェアリングエコノミーサービスの例

一般社団法人シェアリングエコノミー協会では、シェアリングサービスを既存の産業分類との関連を踏まえ、図2のとおり民泊などの「空間のシェア」、ライドシェア（車の相乗り）などの「移動のシェア」、中古品売買・レンタルなどの「モノのシェア」、クラウドソーシングなどの「スキル・時間のシェア」、クラウドファンディングなどの「お金のシェア」の5類型に分類している。

表1では、5類型についての概要とサービス例を具体的にまとめている。

図2：シェアリングエコミーサービスの例



表1：シェアリングエコミーの5類型

シェアの対象	概要	サービス例
空間	空き家や別荘、駐車場等の空間をシェアする。	Airbnb, SPACEMARKET, akippa
移動	自家用車の相乗りや貸自転車サービス等、移動手段をシェアする。	UBER, nottoco, Anyca, Lyft, 滴滴出行
モノ	不用品や今は使っていないものをシェアする。	Mercari, ジモティー, air Closet
スキル	空いている時間やタスクをシェアし、解決できるスキルを持つ人が解決する。	Crowd Works, アズママ, TIME TICKET
お金	サービス参加者が他の人々や組織、あるプロジェクトに金銭を貸し出す。	Makuake, READY FOR, STEERS, Crowd Realty

(出典) 総務省「ICTによるイノベーションと新たなエコミー形成に関する調査研究」より抜粋 (平成30年)

3 自治体におけるシェアリングエコミー活用の意義

近年、全国の自治体において、各地域が抱える様々な課題を解決し、地域を活性化することを目的にシェアリングエコミーを活用する動きが広まりつつある。例えば、秋田県湯沢市では子育て&家事のシェアサービスと連携した女性活躍の支援、東京都港区では自転車シェアリングによる放置自転車対策や地域での回遊性向上などの取組がなされている。また千葉県や滋賀県大津市などのように「シェアリングシティ」として複数のシェアリングエコミーを導入して行政・公共サービスを補完する自治体も増加している。

特に地方の自治体において、人口減少や高齢化等とも相まって、観光や交通、子育てなど多様な課題が山積しているなか、限られた予算の中でいかに行政サービスの総量を増やし、質を高めるかに頭を悩ませている。

その中で、シェアリングエコミーを通じて、行政による「公助」に加え、地域の人やモノなど民間ベースの「共助」を有効活用することで地域の行政サービスを補完し、持続可能なまちづくりを促進することに大きな意義がある。

2. 住民アンケート

住民向けアンケート

<事前調査（スクリーニング）>

問1. あなたが現在居住している地域について、お聞かせください（1つ）

選択肢				
1. 八王子市	9. 町田市	17. 狛江市	25. あきる野市	33. 新島村
2. 立川市	10. 小金井市	18. 東大和市	26. 西東京市	34. 神津島村
3. 武蔵野市	11. 小平市	19. 清瀬市	27. 瑞穂町	35. 三宅村
4. 三鷹市	12. 日野市	20. 東久留米市	28. 日の出町	36. 御蔵島村
5. 青梅市	13. 東村山市	21. 武蔵村山市	29. 檜原村	37. 八丈町
6. 府中市	14. 国分寺市	22. 多摩市	30. 奥多摩町	38. 青ヶ島村
7. 昭島市	15. 国立市	23. 稲城市	31. 大島町	39. 小笠原村
8. 調布市	16. 福生市	24. 羽村市	32. 利島村	40. その他

問2. 現在のあなたの職業について、お聞かせください（1つ）

- ①会社員（正社員）
- ②会社員（契約社員／派遣社員）
- ③経営者・役員
- ④自営業・フリーランス
- ⑤公務員
- ⑥学生
- ⑦専業主婦・主夫
- ⑧パート・アルバイト
- ⑨無職

問3. あなたは「シェアリングエコノミー」について、どの程度ご存知ですか（1つ）

- ①内容をよく知っている（説明できる）
- ②言葉は聞いたことがある（内容はよくわからない）
- ③まったく知らない（言葉を聞いたこともない）

<本調査>

I. あなた自身のことについて

問1 あなたが通勤・通学している地域について、お聞かせください（主なものを1つ）

選択肢				
1. 八王子市	10. 小金井市	19. 清瀬市	28. 日の出町	37. 八丈町
2. 立川市	11. 小平市	20. 東久留米市	29. 檜原村	38. 青ヶ島村
3. 武蔵野市	12. 日野市	21. 武蔵村山市	30. 奥多摩町	39. 小笠原村
4. 三鷹市	13. 東村山市	22. 多摩市	31. 大島町	40. 23区エリア
5. 青梅市	14. 国分寺市	23. 稲城市	32. 利島村	41. その他道府県
6. 府中市	15. 国立市	24. 羽村市	33. 新島村	42. 通勤・通学はしていない
7. 昭島市	16. 福生市	25. あきる野市	34. 神津島村	
8. 調布市	17. 狛江市	26. 西東京市	35. 三宅村	
9. 町田市	18. 東大和市	27. 瑞穂町	36. 御蔵島村	

問2 現在のあなたの同居構成について、お聞かせください（1つ）

- ① 一人暮らし
- ② 「配偶者／パートナー」と同居
- ③ 「配偶者／パートナー」及び「子ども」と同居
- ④ 「子ども」と同居
- ⑤ 「親」と同居
- ⑥ 「親」及び「配偶者／パートナー」と同居
- ⑦ 「親」・「配偶者／パートナー」及び「子ども」と同居
- ⑧ 「親」及び「子ども」と同居
- ⑨ その他

問3. 日常生活において、ご自身にあてはまると感じる内容について、お聞かせください。

(あてはまるものをすべて選択)

選択肢	回答欄(チェック)
1. 希望条件(就業場所・日数・時間・賃金など)にあう仕事が見つからない	<input type="checkbox"/>
2. 空き時間や得意な知識などを有効に使って、収入を得たい	<input type="checkbox"/>
3. 育児や子育てを一時的・不定期に手伝ってくれる相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
4. 家族などの介助や介護を一時的・不定期に頼める相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
5. 日常的な家事(料理・買い物・掃除など)をしてくれる相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
6. 普段はできない家事仕事(大掃除や庭の手入れなど)を頼める相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
7. 自分が病気で寝込んだ時などの看病や世話をしてくれる相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
8. 外出時の移動を手伝ってくれる相手が欲しい(買い物や病院への送り迎え等)	<input type="checkbox"/>
9. 自分で購入や管理をすることなく、自動車、バイクや自転車などを使いたい	<input type="checkbox"/>
10. 地域に来る旅行者と交流したい(案内ガイドなど)	<input type="checkbox"/>
11. 地域にある公的な施設やスペースを一時的に利用したい(イベントなど)	<input type="checkbox"/>
12. 所有する遊休不動産(空き家、空き店舗や土地など)を活用したい	<input type="checkbox"/>
13. 自宅にある空き部屋を有効に活用したい(観光客に提供するなど)	<input type="checkbox"/>
14. 習い事(趣味や語学など)に関心があるが、通える場所がない	<input type="checkbox"/>
15. 習い事(趣味や語学など)に関心があるが、教室や先生を見つけられない	<input type="checkbox"/>
16. 所有する農地・田畑や森林を有効活用したい	<input type="checkbox"/>
17. 自身が行っている農林水産の仕事を引き継いでくれる相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
18. 災害発生時に情報収集や安全確保ができるか不安を感じる	<input type="checkbox"/>
19. 自らがやりたい事業や企画アイデアを実現するための資金を調達したい	<input type="checkbox"/>
20. インターネットを使った情報収集などを手伝ってくれる相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
21. 日ごろの心配ごとや悩みごとを相談する相手が欲しい	<input type="checkbox"/>
22. 地域住民同士の関係性やネットワークを深めたい	<input type="checkbox"/>
23. 上記にあてはまるものはない	<input type="checkbox"/>

II. シェアリングエコノミーの認知・利用状況について

問4. 最初に「シェアリングエコノミー」を知ったきっかけについて、お聞かせください(1つ)

- ①家族や友人などの紹介や口コミ
- ②広告やコマース
- ③テレビ番組など
- ④掲示板やQ&A サイト
- ⑤書籍や雑誌
- ⑥SNS やレビュー投稿サイト
- ⑦その他()

問5. あなた自身のシェアリングエコノミーの利用経験(ゲスト利用/ホスト提供の両方またはいずれか)について、お聞かせください。

- ①利用経験(ゲスト利用/ホスト提供の両方またはいずれか)がある →問6へ
- ②どれも利用したことはない →問17へ

Ⅲ.具体的なシェアリングエコノミーの利用経験について

問6. 下記のシェアリングエコノミーについての利用経験を、お聞かせください（それぞれ1つずつ）

シェアリングエコノミーの種類		利用経験（それぞれ一つずつ）
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
	1-2.スペースシェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
	2-2.ライドシェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
	2-3.シェアサイクル	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
	3-2.レンタルサービス	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
	4-2.時間シェア	①利用者（ゲスト）として利用（借りた、買った） ②提供者（ホスト）として利用（貸した、売った） ③利用者（ゲスト）／提供者（ホスト）の両方として利用 ④利用したことはない
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	①起案者（起業者）として資金援助を受けた ②支援者（投資家）として資金提供を行った ③起案者（起業者）／支援者（投資家）の両方として利用 ④利用したことはない
	5-2.ソーシャルレンディング	①借り手として融資を受けた ②投資家として出資を行った ③借り手／投資家の両方として利用 ④利用したことはない

ここからは、「利用者（ゲスト）として利用経験」のあるシェアリングエコノミーについて、お答えください

問7. シェアリングエコノミーを「利用者（ゲスト）として利用」するにいたった理由（メリット）について、お聞かせください。（あてはまるものすべて）

- ①お金を節約できるから
- ②便利そうに感じたから
- ③一定期間・一時的にしか利用しないから
- ④自宅などにモノを増やしたくないから
- ⑤新しいサービスで、面白そうだと感じたから
- ⑥（所有するよりも）いろいろな種類のものを楽しめるから
- ⑦無駄が少なく、環境にやさしいと感じたから
- ⑧他の人とのつながりが拡大すると感じたから
- ⑨その他（ ）

問8. シェアリングエコノミーを「利用者（ゲスト）として利用」するにあたって感じた、不安や懸念についてお聞かせください。（あてはまるものすべて）

- ①事故やトラブル発生時の対応が不安だった
- ②口コミ等によるサービス評価が信頼できなかった
- ③面識のない相手とのやりとりが不安だった
- ④利用するモノやサービスの安全性・品質が不安だった
- ⑤サービスの仕組みや利用方法が分かりにくいと感じた
- ⑥自らの望むタイミングで利用できるかが不安だった
- ⑦個人情報の登録手続きが煩わしいと感じた
- ⑧個人情報の漏えいなどセキュリティ面が不安だった
- ⑨支払手続き（決済面）が不安だった
- ⑩その他（ ）
- ⑪特に不安や懸念は感じなかった

問9. シェアリングエコノミーを「利用者（ゲスト）として利用」するにあたって、重視した条件についてお聞かせください（あてはまるものすべて）

- ①提供者（ホスト）の名前やプロフィールが確認出来ること
- ②提供者（ホスト）との連絡手段が確保されていること
- ③貸し出されるサービスやモノの品質が提供者（ホスト）の説明通りであること
- ④サービス事業者が適切な許可を受けていることが確認できること
- ⑤トラブルが発生した場合に備えたサービス事業者による保証や介入の仕組みがあること
- ⑥口コミなどで提供者（ホスト）の評価が高いこと
- ⑦サービス利用に対する支払金額に割安感が感じられること
- ⑧その他（ ）
- ⑨特に重視した条件はない

問10. 今後、「利用者（ゲスト）として利用したい」と考えているシェアリングエコノミーについて、お聞かせください（あてはまるものすべて）

カテゴリ	シェアリングエコノミーの種類		サービス例	回答 (利用したいものにチェック)
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	個人の自宅や空き家等の住宅を宿泊者向けに貸し出すサービス（主に民泊）	Airbnb(エアビーアンドビー)	<input type="checkbox"/>
	1-2.スペースシェア	空き地や遊休施設、駐車場など空きスペース等を貸し出すサービス	SPACEMARKET(スペースマーケット)、akippa(アキッパ)、軒先パーキング/軒先ビジネス	<input type="checkbox"/>
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	会員間で自動車を共有し、利用できるサービス	Anyca(エニカ)	<input type="checkbox"/>
	2-2.ライドシェア	移動手段を探している人と乗り物の所有者・運転者をマッチングする相乗りサービス	UBER(ウーバー)、notteco(ノッテコ)	<input type="checkbox"/>
	2-3.シェアサイクル	会員間で自転車を共有し、利用できるサービス	COGICOGI(コギコギ)、COGOO(コゴー)	<input type="checkbox"/>
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	不用品などの物品をオンライン上で売買できるサービス	Mercari(メルカリ)、ジモティー	<input type="checkbox"/>
	3-2.レンタルサービス	洋服や家具など定額料金で自由にレンタルできるサービス	airCloset(エアークロゼット)、Laxus(ラクサス)	<input type="checkbox"/>
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	デザインや通訳業務など特定スキルを提供するサービス（クラウドソーシングなど）	CrowdWorks(クラウドワークス)、coconala(ココナラ)	<input type="checkbox"/>
	4-2.時間シェア	家事代行や子守り、地域ガイドなど空き時間を提供するサービス	AsMama(アズママ)、タスカジ、TABICA(タビカ)	<input type="checkbox"/>
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	不特定多数の人々からオンラインで資金を募るサービス	Makuake(マクアケ)、Readyfor(レディーフォー)	<input type="checkbox"/>
	5-2.ソーシャルレンディング	資金を得たい人と投資したい人をインターネット上で結びつけるサービス	SBI ソーシャルレンディング、OwnersBook(オーナーズブック)	<input type="checkbox"/>
6. 利用したいものはない				<input type="checkbox"/>

問11. その他、「他人から共有してもらおう」ことができたら便利だと思うモノやスキル等について、ご自由にお聞かせください。（自由回答）

ここからは、「提供者（ホスト）として提供経験」のあるシェアリングエコノミーについて、お答えください

問12. シェアリングエコノミーを「提供者（ホスト）として提供」するにいたった理由（メリット）について、お聞かせください。（あてはまるものすべて）

- ①使っていないモノや得意なスキル等を活用して報酬が得られるから
- ②自身の都合に合わせて、モノやスキル等を提供できるから
- ③無駄が少なく、環境にやさしいと感じたから
- ④はじめるにあたって初期投資の負担が少ないから
- ⑤利用者（ゲスト）の役に立つことによる満足感を得られるから
- ⑥新しいサービスで、面白そうだと感じたから
- ⑦他の人とのつながりが拡大すると感じたから
- ⑧その他（ ）

問13. シェアリングエコノミーを「提供者（ホスト）として提供」するにあたって感じた、不安や懸念についてお聞かせください。（あてはまるものすべて）

- ①事故やトラブル発生時の対応が不安だった
- ②仕組み全体のルールが明確でなく、不安だった
- ③面識のない相手とのやりとりが不安だった
- ④利用者（ゲスト）が、自分が提供するモノやサービスに満足してくれるかが不安だった
- ⑤個人情報の登録手続きが煩わしいと感じた
- ⑥個人情報の漏えいなどセキュリティ面が不安だった
- ⑦入金されるかが不安だった
- ⑧その他（ ）
- ⑨特に不安や懸念は感じなかった

問14. シェアリングエコノミーの「提供」にあたって重視した条件

- ①利用者（ゲスト）の名前やプロフィールが確認出来ること
- ②利用者（ゲスト）との連絡手段が確保されていること
- ③利用者（ゲスト）が貸し出したモノやサービスを適切に使用してくれること
- ④サービス事業者が適切な許可を受けていることが確認できること
- ⑤トラブルが発生した場合に備えたサービス事業者による保証や介入の仕組みがあること
- ⑥口コミなどで利用者（ゲスト）の評価が高いこと
- ⑦その他（ ）
- ⑧特に重視した条件はない

問15. 今後、「提供者（ホスト）として提供したい」と考えているシェアリングエコノミーについて、お聞かせください（あてはまるものすべて）

カテゴリ	シェアリングエコノミーの種類		サービス例	回答 (提供したいものにチェック)
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	個人の自宅や空き家等の住宅を宿泊者向けに貸し出すサービス（主に民泊）	Airbnb(エアビーアンドビー)	<input type="checkbox"/>
	1-2.スペースシェア	空き地や遊休施設、駐車場など空きスペース等を貸し出すサービス	SPACEMARKET(スペースマーケット)、akippa(アキッパ)、軒先パーキング/軒先ビジネス	<input type="checkbox"/>
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	会員間で自動車を共有し、利用できるサービス	Anyca(エニカ)	<input type="checkbox"/>
	2-2.ライドシェア	移動手段を探している人と乗り物の所有者・運転者をマッチングする相乗りサービス	UBER(ウーバー)、notteco(ノッテコ)	<input type="checkbox"/>
	2-3.シェアサイクル	会員間で自転車を共有し、利用できるサービス	COGICOGI(コギコギ)、COGOO(コゴー)	<input type="checkbox"/>
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	不用品などの物品をオンライン上で売買できるサービス	Mercari(メルカリ)、ジモティー	<input type="checkbox"/>
	3-2.レンタルサービス	洋服や家具など定額料金で自由にレンタルできるサービス	airCloset(エアークロゼット)、Laxus(ラクサス)	<input type="checkbox"/>
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	デザインや通訳業務など特定スキルを提供するサービス（クラウドソーシングなど）	Crowd Works(クラウドワークス)、coconala(ココナラ)	<input type="checkbox"/>
	4-2.時間シェア	家事代行や子守り、地域ガイドなど空き時間を提供するサービス	AsMama(アズママ)、タスカジ、TABICA(タビカ)	<input type="checkbox"/>
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	不特定多数の人々からオンラインで資金を募るサービス	Makuake(マクアケ)、Readyfor(レディーフォー)	<input type="checkbox"/>
	5-2.ソーシャルレンディング	資金を得たい人と投資したい人をインターネット上で結びつけるサービス	SBI ソーシャルレンディング、OwnersBook(オーナーズブック)	<input type="checkbox"/>
6. 提供したいものはない				<input type="checkbox"/>

問16. その他、「他人に共有する」ことができたなら便利だと思うモノやスキル等について、ご自由にお聞かせください。（自由回答）

IV.シェアリングエコノミーを利用（ゲスト利用及び提供者（ホスト）提供）していない理由について

問17. 今まで利用（ゲスト利用及び提供者（ホスト）提供）していない理由について、もっともあてはまるものをお聞かせください（1つだけ）

- ①利用したいと感じるサービスがないから
- ②身近に利用できるサービスがないから
- ③利用することに不安・抵抗感があるから →問18へ
- ④利用方法や手続きがわかりにくいから
- ⑤その他（ ）

問18. シェアリングエコノミーを利用（ゲスト利用及び提供者（ホスト）提供）するにあたって感じている不安・抵抗感について、お聞かせください（あてはまるものすべて）

- ①事故やトラブル発生時の対応が不安
- ②口コミ等によるサービス評価が信頼できるか不安
- ③面識のない相手とのやりとりが不安
- ④利用・提供するモノやサービスの安全性・品質が不安
- ⑤サービスの仕組みや利用方法が分かりにくい
- ⑥自らの望むタイミングで利用・提供できるかが不安
- ⑦個人情報の登録手続きが煩わしいと感じる
- ⑧個人情報の漏えいなどセキュリティ面が不安
- ⑨お金のやりとり・手続きが不安
- ⑩その他（ ）

問19. 下記サービスを「ゲストとして利用（買う、借りる）」することについて、それぞれの関心度をお聞かせください（それぞれ1つずつ）※任意でURL参照（別紙）

カテゴリ	シェアリングエコノミー	関心度
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	1-2.スペースシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	2-2.ライドシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	2-3.シェアサイクル	①利用したい ②利用したいと思わない
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	①利用したい ②利用したいと思わない
	3-2.レンタルサービス	①利用したい ②利用したいと思わない
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	4-2.時間シェア	①利用したい ②利用したいと思わない
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	①利用したい ②利用したいと思わない
	5-2.ソーシャルレンディング	①利用したい ②利用したいと思わない

問20. その他、「他人から共有してもらい」ことができたら便利だと思うモノやスキル等について、ご自由にお聞かせください。(自由回答)

問21. 各サービスについて、「ホストとして提供(売る、貸す)」することについて、それぞれの関心度をお聞かせください(それぞれ1つずつ) ※任意で URL 参照(別紙)

カテゴリ	シェアリングエコノミー	関心度
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	1-2.スペースシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	2-2.ライドシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	2-3.シェアサイクル	①利用したい ②利用したいと思わない
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	①利用したい ②利用したいと思わない
	3-2.レンタルサービス	①利用したい ②利用したいと思わない
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	①利用したい ②利用したいと思わない
	4-2.時間シェア	①利用したい ②利用したいと思わない
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	①利用したい ②利用したいと思わない
	5-2.ソーシャルレンディング	①利用したい ②利用したいと思わない

問22. その他、「他人に共有する」ことができたら便利だと思うモノやスキル等について、ご自由にお聞かせください。(自由回答)

「シェアリングエコノミー」とは・・・

個人等が保有する「遊休資産」(※1)などを、インターネット上のプラットフォームを介して他の個人等が必要なタイミングで利用することを可能にする経済活動の総称。

遊休資産を提供したい人(ホスト)、利用したい人(ゲスト)がそれぞれシェアリングサービス事業者(プラットフォーム)に登録し、不特定多数の提供者の中から、利用者がニーズに応じて選択し、互いが合意すれば、提供者が資産を提供し、利用者が利用するサービス。

※1：遊休資産：活用されていない資産。有形のものだけでなくスキルや時間など無形のものも含む

【シェアリングエコノミーの分類】



(出典) 総務省「ICTによるイノベーションと新たなエコノミー形成に関する調査研究」より抜粋(平成30年)

別紙

【本調査で対象とするシェアリングエコノミー】

カテゴリ	シェアリングエコノミーの種類		サービス例
1. 空間のシェア	1-1.ホームシェア	個人の自宅や空き家等の住宅を宿泊者向けに貸し出すサービス（主に民泊）	Airbnb(エアビーアンドビー)
	1-2.スペースシェア	空き地や遊休施設、駐車場など空きスペース等を貸し出すサービス	SPACEMARKET(スペースマーケット)、akippa(アキッパ)、軒先パーキング/軒先ビジネス
2. 移動のシェア	2-1.カーシェア	会員間で自動車を共有し、利用できるサービス	Anyca(エニカ)
	2-2.ライドシェア	移動手段を探している人と乗り物の所有者・運転者をマッチングする相乗りサービス	UBER(ウーバー)、notteco(ノッテコ)
	2-3.シェアサイクル	会員間で自転車等を共有し、利用できるサービス	COGICOGI(コギコギ)、COGOO(コゴー)
3. モノのシェア	3-1.フリーマーケット	不用品などの物品をオンライン上にて売買できるサービス	Mercari(メルカリ)、ジモティー
	3-2.レンタルサービス	洋服や家具など月額料金で自由にレンタルできるサービス	airCloset(エアークロゼット)、Laxus(ラクサス)
4. スキルのシェア	4-1.スキルシェア	デザインや通訳業務など特定スキルを提供するサービス（クラウドソーシングなど）	CrowdWorks(クラウドワークス)、coconala(ココナラ)
	4-2.時間シェア	家事代行や子守り、地域ガイドなど空き時間を提供するサービス	AsMama(アズママ)、タスカジ、TABICA(タビカ)
5. カネのシェア	5-1.クラウドファンディング	不特定多数の人々からオンラインで資金を募るサービス	Makuake(マクアケ)、Readyfor(レディーフォー)
	5-2.ソーシャルレンディング	資金を得たい人と投資したい人をインターネット上で結びつけるサービス	SBI ソーシャルレンディング、OwnersBook(オーナーズブック)

公益財団法人 東京市町村自治調査会

1986年10月に、市町村の自治の振興を図ることを目的に東京都多摩・島しょ地域の全市町村の総意により設立された行政シンクタンクです。

多摩・島しょ地域の広域的課題や共通課題に関する調査研究・普及啓発のほか、市町村共同事業、広域的市民活動への支援などを行っています。

本書は、(公財)東京市町村自治調査会及び(株)矢野経済研究所による共同調査方式で作成しました。

(公財)東京市町村自治調査会

永尾 昌文 調査部長(東京都派遣)
小野 友弘 主任研究員(東京都派遣)
上原 唯 研究員(多摩市派遣)
鬼頭 敦子 研究員(町田市派遣)
深田 智明 研究員(東大和市派遣)

(株)矢野経済研究所

石塚 俊 主席研究員
櫻木 基起 主任研究員
須貝利喜夫 研究員
大窪 晴美 研究員

2020年3月発行

シェアリングエコノミーで解決する 自治体課題に関する調査研究報告書

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL: 042-382-7722 FAX: 042-384-6057
URL: <http://www.tama-100.or.jp>

発行責任者 小暮 実

調査委託 株式会社 矢野経済研究所
〒164-8620 東京都中野区本町2-46-2 中野坂上セントラルビル
TEL: 03-5371-6900 FAX: 03-5371-6967
URL: <https://www.yano.co.jp/>

印刷 株式会社 共同印刷所
〒183-0056 東京都府中市寿町3-13-8
TEL: 042-368-2001 FAX: 042-368-4070



再生紙を使用しています